

道  
北

道北

地域おこし協力隊員 小河 しづくさん 25

魅力発見

増毛町

増毛町は「日本最北の果樹産地」とも呼ばれ、町内には約30もの果樹農家がいます。暑寒別岳（1492m）の伏流水が流れる暑寒別川の川沿いには多くの果樹園が並び、5月上旬には白色のサクランボの花で覆われたり、秋には真っ赤なリンゴが並んだりと、季節によって町の風景が変わるんです。夏には港やオロロンラインから望む日本海の青さがより一層輝くなど、豊かな自然は町の魅力ですね。

協力隊員として増毛町に着



撮影当時の看板が今も残る観光案内所



## 映画の舞台が観光案内所

任してからは、祖父母から引き継いだ果樹園を夫と共に経営しつつ、町の商工観光課で働いています。役場庁舎内の勤務が多いですが、週1回は観光案内所にも顔を出します。

観光案内所は高倉健さん主演の映画「駅 STATION」

N」の舞台になった建物を活用したもので、中には出演者のサインだったり、映画内で登場する居酒屋を再現したセットが置かれたりと、ファンにとってはたまらない「聖地」になっています。これらを目当てに大勢訪れる時期もありますよ。

町内では5月下旬に、コロナ禍で中止になっていた「増毛春の味まつり」が4年ぶりに開催されたんです。幹線道

外装に道産材が使われた店舗

### - 隊員になるまで -



札幌市出身。父親が聴覚障害を持っており、幼少期から手話を学んだ。祖父母が作るサクランボが大好きだった。高校卒業後は札幌市内の電子たばこ販売店に勤めていたが、経営が難しくなった祖父母に代わって果樹園を引き継ぐため、増毛町へ移住し、2021年7月から地域おこし協力隊員になった。

協力隊の活動のほかにも、町の観光協会のボランティアで手話を使った観光案内をしています。協会のホームページから申し込み用紙をダウンロードしてファックスや郵送で手話を使った観光案内を送ったり、私が管理している町のインスタグラムへダイレクトメッセージを送ったりしていただければ対応できます。聴覚障害を持つ方も安心して町へ遊びに来てほしいと思います。

路を歩行者天国にして、周辺には地元の酒蔵や水産会社が出店しました。天候にも恵まれ、約3万人のお客さんが来場してくれましたし、私も他の協力隊員2人と一緒に店を出し、日々の活動報告やポップコーンの販売をしました。秋には、港周辺の一角を使って同様のイベントが開催される予定です。屋台に並ぶ商品も春から少し変わり、夏から秋にかけて収穫された果物などを購入できるはずです。私たちの果樹園も出店予定ですよ。